



# 都市地下空間活用研究会

Urban Underground Space Center of Japan

## USJ NEWS LETTER

平成30(2018)年6月 No.4

### 地下研の新会長に岸井隆幸氏が就任

1987年の当研究会設立から31年の節目を迎えた今年、1999年度より会長代行を、そして2012年度より会長をお勤めいただいた黒川 光 一般財団法人計量計画研究所会長が、この度当研究会会長を退任されることとなりました。これに伴い先般、新会長選任のための、評議員会、総会が開催され、岸井隆幸 一般財団法人計量計画研究所代表理事が当研究会の新会長に就任することとなりました。ここに一連の重要な当研究会会議の結果について、その模様をご紹介します。



岸井会長

(以下、敬称略)

<b>【最高顧問】</b>		
早稲田大学	特命教授	伊藤 滋
(一財)計量計画研究所	会 長	黒川 光
<b>【会 長】【評議員】</b>		
(一財)計量計画研究所	代表理事	岸井 隆幸
<b>【会長代行】【評議員】</b>		
埼玉大学 理工学研究科	環境科学・社会基盤部門 教授	久保田 尚
<b>【企画運営委員会 委員長】</b>		
早稲田大学 理工学術院	社会環境工学科 教授	森本 章倫
<b>【企画運営小委員会 幹事長】</b>		
日本大学 理工学部	土木工学科 都市計画研究室 教授	大沢 昌玄

### ◆企画運営委員会・企画運営小委員会合同会議 報告

去る5月23日、(一財)道路新産業開発機構 第1会議室において、企画運営委員会・企画運営小委員会合同会議が開催されました。岸井企画運営委員長、久保田企画運営小委員会座長のほか各委員一同と、国交省からアドバイザーとして鎌田施設計画調整官、青柳街路事業調整官ほか参加されました。

会議では6月の評議員会、定時総会に付議する平成29年度事業報告及び収支決算(案)、

平成30年度事業計画及び収支予算(案)、規約改正(案)等が審議されました。また、特にこの春実施された「活動内容に関する意向調査アンケート集計結果」とその対応策に関する事務局案の説明があり、これについて意見交換がなされました。

鎌田施設計画調整官から「30年度の事業計画にアンケート結果が反映されていないが、31年度から実施ということか」との質問があり、事務局から「見学会や講演会への要望など、すぐに対応出来ることはすでに手掛けている。政策提言や分科会テーマなどの要望は運営企画小委員会と相談しながら今後対応を詰めていきたい」との説明がありました。

### ◆第33回評議員会報告

6月7日の14時30分から、地下研の第33回評議員会がTKP市ヶ谷カンファレンスセンター5階カンファレンスルーム5Eにおいて開催されました。当日は、お忙しい中12名の評議員のうち、12名(委任状による出席を含む)のご出席をいただきました。

会議は冒頭事務局より、黒川会長の退任に伴う当評議員会議長選任に係る手続き経緯について説明があり、5月28日の臨時総会で岸井隆幸先生が評議員に選任され、更に5月29日に黒川会長が岸井隆幸先生を会長代行に指名し、本日の評議員会議長の職を務める旨報告がありました。その後、平成29年度事業報告及び収支決算(案)、平成30年度事業計画及び収支予算(案)の審議が続き、規約改正(案)については事務局から、役員任期を2年にすること、研究会に最高顧問を置くこと、会議招集が電磁的方法により出来るようにすることなどの改正について説明があり、定時総会に付議することが承認されました。

更に、役員を選任等(案)については、会長候補に岸井先生を、会長代行の候補に埼玉大学の久保田先生を推薦することになりました。また、企画運営委員長には早稲田大学理工学術院社会環境工学科教授の森本章倫(あきのり)先生を、企画運営小委員会幹事長には日本大学理工学部土木工学科教授の大沢昌玄(まさはる)先生を推薦することになりました。



### ◆第32回通常総会報告

同日の6月7日15時から地下研の第32回通常総会がTKP市ヶ谷カンファレンスセンター6階カンファレンスルーム6Dにおいて開催されました。当日は、お忙しいなか55名の会員のうち、48名(委任状による出席を含む)のご出席をいただきました。



鎌田施設計画調整官

また、来賓には国土交通省都市局都市計画課の鎌田秀一施設計画調整官のご臨席を賜りました。



会場の様子

総会でも冒頭事務局より、黒川会長の退任に伴う当総会議長選任に係る手続き経緯について説明があり、岸井隆幸会長代行が総会議長を務めて会議が始まりました。

第1号議案では、事務局から評議員会が岸井会長代行を新会

長に推薦する旨を決した報告があり、総会は全員一致でこれを承認しました。

引き続き、第2号議案 平成29年度事業報告及び収支決算(案)、第3号議案 平成30年度事業計画及び収支予算(案)、第4号議案 規約改正(案)、第5号議案 役員を選任等(案)いずれも、評議員会からの付議どおり全員一致で承認されました。また、会員から顧問、参与の設置状況、国際化への対応状況、当研究会活動と国の施策との連動性について質問があり、活発な意見交換がなされました。



岸井会長

## ◆記念講演会報告

同日の6月7日17時から地下研とアーバンインフラ・テクノロジー推進会議共催の記念講演会がTKP市ヶ谷カンファレンスセンター6階カンファレンスルーム6Dで開催されました。当研究会新会長の岸井隆幸先生より、「21世紀のまちづくりのありかた」と題してご講演をいただきました。冒頭、高橋洋二アーバンインフラ・テクノロジー推進会議会長(当研究会学識会員)からご挨拶があり、約50名の皆さんが熱心に聴講されました。



会場の様子

講演は「過去、何がまちづくりを変え、今何が起こり、そして、将来まちづくりがどうなるのか」の3つの構成で進みました。今のパートでは「Strategic PPP」「Compact + NW」などのキーワードを中心に、丸の内から渋谷、そして新宿、池袋へと進む、街づくりの動向について具体的な説明にありました。そしてこの先については



講演中の岸井先生

「TODからTODMへ」「和流 Sustainability」「Real Edge」3つのキーワードに象徴される、新しいまちづくりが提起されました。まちづくりにマネジメント(M)の視点が重要なこと、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ(シンガポール)の余りにも人工的な環境が疑問なこと、情報が氾濫する中で本物(Real)をいち早く世界に紹介する大切さなど、国内外の事例をふんだんに使い、日本のこれからのまちづくりの競争力について

示唆がありました。そして最後に、これまでの30年と違う地下研の活動に期待と激励が寄せられました。

なお、当日の資料は以下のURLで取得することができます。

<http://www.uit.gr.jp/pdf/180607uitkouen-001.pdf>

**Strategic PPP**

**Compact + NW**

**TODからTODMへ**

**和流 Sustainability**

**Real Edge**

**「CHAOSの海」の生命力**

都市の競争力は業務・商業の集積だけではない

多様な **Real Edge** が豊潤さを生む

一部資料抜粋